

第1回障害と自動車運転に関する研究会アンケート集計結果

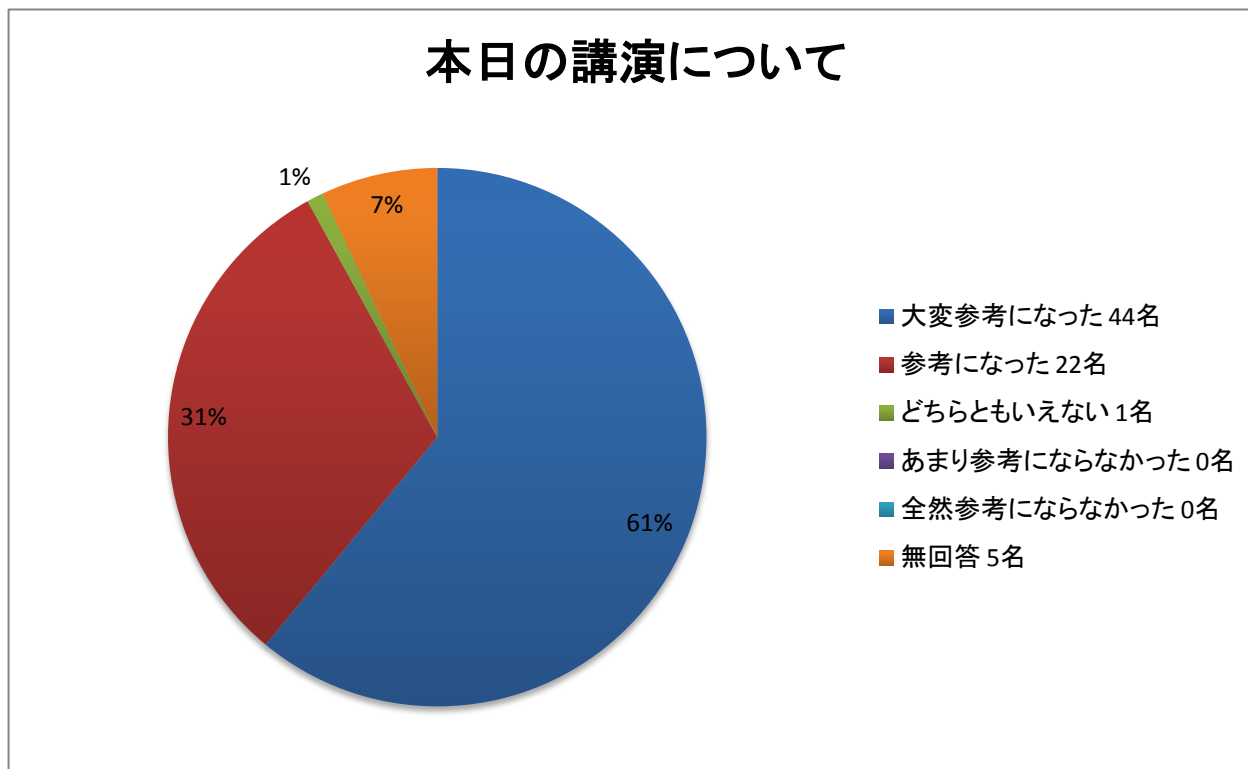
平成25年11月30日 開催

参加者総数 93名 (うち世話人14名)

アンケート回答総数 72名 (有効回収率91%)

1. 本日の講演について

大変参考になった	44名	61%	}	合計	66名	92%
参考になった	22名	31%				
どちらともいえない	1名	1%				
あまり参考にならなかった	0名					
全然参考にならなかった	0名					
無回答	5名	7%				
計	72名	100%				



2. 今後行ってほしい企画, 講演などありましたらお書きください.

事例検討など

- ・ 実際のケース紹介, ケース検討(同様5件)
- ・ 実施病院の取り組み(同様2件)
- ・ 事例(成功例, 心配が現実になったケースなど)(同様4件)
- ・ 具体的な実践報告(同様2件)
- ・ 失語症の方で運転ができるようになった方がいたらぜひ(事例紹介を).
- ・ 実際に運転ができるようになった事例の紹介. 具体的な例がわかると自分の病院で取り組める手がかりになると思うので.
- ・ 事例(ドライブシュミレータ, 適性検査結果)を目にできるとより良いのでは.
- ・ 家族や症例本人の意見感想の紹介など
- ・ 運転再開支援を行って成功したケース, 再開に結びつかなかったケース, 再開可となったケースのその後など, いろいろなケースの報告
- ・ 実際の症例報告(検査結果と実車場面の照合等)
- ・ 高次脳機能障害を有する患者の自動車運転に関する支援の事例紹介
- ・ 実際の運転可否の症例報告の会があれば.
- ・ 症例紹介. 自動車運転に関わる症例, リハの視点から.

連携方法など

- ・ 教習所の方から, 実情, 連携方法など(同様2件)
- ・ 病院退院後(外来や通所リハ)での免許更新連携について
- ・ 免許センターとの連携のとり方, 方法
- ・ 自動車学校との連携について. 実技指導, 注意点等, 病院で何を求めているのかを確認したい.
- ・ 教習所, 免許センターへの初回の相談等のスムーズな導入の仕方のプロトコルなどがあると助かる.
- ・ 実際に教習所との連携している場面等(動画など)の講演があったらとても参考になります.

評価手段, 基準, 方法など

- ・ OTが実車に同行した場合の役割について具体的に知りたい. どのような点で評価していけばいいかなど
- ・ ドライブシュミレータの効果について
- ・ シュミレータの機能について詳しく聞きたいです.
- ・ PT,OT,STとして実車評価について
- ・ 高次脳の検査結果の具体的な基準が知りたいです(年代別など).
- ・ セラピスト(PT, OT, ST)が行うべき評価, 検査項目等具体的に決定していたら教えていただける機会を今後望みます.

自動車学校関連

- ・ 自動車学校での運転評価の実態や評価基準など講演してほしい.
- ・ 自動車学校の先生の話が聞きたい.

免許センター, 公安委員会関連

- ・ 免許センターでの取り組みなど基礎的なこと, 知識から知りたい.
- ・ 高次脳機能障害について, 免許センター, 公安委員会ではどう捉えているのか詳しく聞きたいです.

その他

- 高次脳機能障害の方が万一事故を起こした場合について(もし運転免許センターに申し出ていなかった場合)任意保険との関係, どのようなことが考えられるか, リスクなど
- 県全体の動向, 会としての動向を随時公開, 講演していただきたいと思った. 新しい取り組みを行っている活動例, 問題点, 課題を引き続きお聞きしたいと思った.
- 慶應義塾大学の三村将先生(自動車運転の研究会を発足している. 今年の新リハ大の講演で知りました. より詳しい内容を知りたいです)
- 三村先生の講演
- 免許が取り上げられた時の代替手段の提案(タクシー等もそうですが, その他の手段をどのようにしているか. 地域, 県, 国などの取り組みについて教えてほしい)
- 運転にハンデ(運動, 認知機能とも)を持っている人の運転をより安全にするための先進技術について
- 発達障害の言葉の評価, 訓練について. 特に成人以上. ダウン症30歳女性の言語訓練の依頼がありました.
- 免許センター側の話が聞けて勉強になりました.

3. 当研究会に対するご意見, ご要望などありましたらお書き下さい.

感想

- ・ 免許センターの金田先生の講演が参考になりました.
- ・ とても勉強になりました. ありがとうございました.
- ・ 免許センターの先生からの様々な情報, 大変勉強になりました.
- ・ 維持期リハ(PT)に関わるものですが, 発症からの経過が長くADLも向上した利用者の生活手段として「運転」も避けて通れないものと感じておりました. 大変良い機会を持ってました. 今後もこのような場を持ちディスカッションができればと思います.
- ・ 情報として今後参加し, 勉強していきたいと思っています.
- ・ 今後とも様々な視点からの情報を知りたいです.
- ・ 場所が分かりにくく迷いました.
- ・ 医療機関や免許センターなど多方向からの情報が得られて勉強になりました.
- ・ 日々の業務の中でつい手を付けられずに過ごしている施設も多いと思う. 今回はとても良いきっかけになりました.
- ・ 少しずつ県内の障害者の方と自動車運転が進歩すればと思います. ありがとうございました.
- ・ 今後もぜひ参加させていただきたい. 以前から悩んでいるテーマでした.
- ・ 大変参考になりました. ありがとうございました.
- ・ 大変ためになりました. ありがとうございました.
- ・ 今まで各病院, 施設で手探りでやっていた評価, 判断をケースを交えて相談できる機会ができ, 今後の活動に期待しています!
- ・ 今後ともよろしく願いいたします.
- ・ とても興味深い内容でした. 当院でも色々と活動していく必要があると感じました. ありがとうございました.
- ・ 当院でも問い合わせが多く運転再開の支援方法を準備していきたいと考えており, とてもよい機会となり勉強になりました. 情報共有して取り組んでいきたいと思っています.

意見

- ・ 県内病院への運転免許再開評価に対し, 任意レベルではなく「必要」レベルの医療関係者代表者の出席をお願いしてもいいと思います. 知らない病院, 無関心の病院の差は患者にとっての不公平(情報)になると思います. 本日出席病院も世話人担当以外の病院関係者がどの位出席していたか気になりました.
- ・ 医療関係者のみならず, 免許センターや公安委員会の方の出席が増えれば有意義だと思います.
- ・ 県全体として統一して取り組めるようになればいいと思います. 医療機関だけでなく公共の機関も含めて.
- ・ 研修会の会場がアクセスの良い所だとありがたいです(費用面があるかと思いますが).

要望

- ・ 下越地域のクリニックに対して, 「現在, 新潟リハ病院, みどり病院で運転再開支援プログラムを行っているので, 運転再開を希望する方がいたら本人, 家族に知らせてください」というようなお知らせを配布してはいかがでしょうか. 新発田のクリニックでは本人, 家族に対して「診断書はかけません」で終わったり, 検査を全くせず退院時のみの情報(半年前や1.2年前の情報)から「運転は辞めておきなさい」との意見, または全く反対に何の検査もせず, 運転機能面のみをみて「運転可能な診断書をいつでも書きますよ」との対応をするドクターが多く, 適切な診断が行われない状況となっているように感じていますので.

- ・ 改造車の運転評価・練習ができる教習所等の情報があれば知りたいです。
- ・ ガイドラインが早くできるとありがたいです。
- ・ 中・上越地区にも協力病院ができればいいと思いました。
- ・ 県内, ひいては全国的な医療側としての統一評価基準作成に向けて尽力していただきたい。
- ・ 大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 実車評価できる自動車学校を教えてください。
- ・ 認知的廃用をおこした人の対応(認知症の診断はありません)
- ・ ガイドブックがあると患者様への説明がスムーズになると思うので, 今後新潟版ができるとういと思いました。
- ・ こうした勉強会の予定を知りたい。
- ・ もう少し頻度を多くして(年に2~3回程度)開催していただき, 事例検討など具体的な事例提示, 条件付与にはどんな条件を与えて運転可としているかなど紹介していただけたらと思います。